

茨城県立こども病院だより

令和7年3月31日

第59号



表紙写真：新生児救急車(ラッコ号)

指定管理者 社会福祉法人 医療法人社団 済生会支部茨城県済生会

小児脳神経外科部長 着任のご挨拶

小児脳神経外科部長 笹野 まり

はじめまして。本年4月より、茨城県立こども病院の小児脳神経外科に赴任いたします笹野まりと申します。昨年半ばより当院脳神経外科における初診の患者さんの受け入れができない状況となり、皆様には多大なるご迷惑をおかけしていると伺っております。これまで当科で治療された患者さんの診療を継続しつつ、まずは外来での初診の患者さんの受け入れから、脳神経外科診療の再開に向けて、微力ながら尽力して参りたく存じます。

小児脳神経外科の守備範囲は、脳や脊髄などの神経組織のみならず、頭蓋骨や頭蓋内血管などを含む幅広い疾患を対象としております。具体的には、水頭症、頭蓋内のう胞性病変、頭蓋骨縫合早期癒合症、脳瘤、頭蓋髄膜瘤、キアリ奇形、二分脊椎、もやもや病、脳動静脈奇形、頭蓋骨膜洞、頭蓋内出血、脳室内出血、頭蓋骨骨折、脊髄損傷、脳腫瘍、脊髄腫瘍、脳性麻痺やその他の脳障害後の痙縮などが対象になります。

これらの疾患に対する治療は小児脳神経外科のみならず、小児総合診療科、小児神経科、新生児科、小児血液腫瘍科、小児外科、小児泌尿器科、小児整形外科、リハビリテーション科、麻酔科などの多数の診療科と協力して行っており、疾患に応じてチーム医療が必要です。また、看護師、技師、理学療法士、臨床心理士、チャイルドライフスペシャリスト、メディカルソーシャルワーカーなどの複数の専門家とともに、治療だけでなく心理的サポート、退院後リハビリテーションや社会環境調整まで、患者さんのトータルサポートを目指しております。小児専門病院の特徴は、頻度の少ない疾患の集約化と多数の診療科や医療スタッフとの垣根のない治療です。

なお、当院脳神経外科は4月から一人体制でのスタートとなりますので、患者さんの受診までに時間がかかってしまうこともあるかと思いますが、その節はご容赦いただけますと幸いです。緊急対応が必要な症例に関しては、この限りではありません。おいそぎの際は電話でのご相談をお願いいたします。皆様のご指導、ご鞭撻ならびにお力添えをお願いし、着任のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2023年度は整形外科の常勤医が不在でしたが、2024年4月より筑波大学から常勤医として赴任いたしました。常勤医は1名ですが、非常勤として筑波大学の塚越医師、鎌田医師、新潟大学の相葉医師、さらに水戸済生会総合病院整形外科医の協力のもとで治療をしております。

今回、当院で診療している小児整形外科疾患の一部についてご紹介いたします。

先天性足部変形

先天性内反足 胎内で足が内側を向いてしまいそのまま生まれてきます。できるだけ早期に石膏ギプスによる矯正を行います。多くの場合アキレス腱の短縮が残り、アキレス腱延長術が必要となります。歩行には支障なく改善することが多いです。

先天性垂直距骨 胎内で足が脛（すね）の方を向いてそのまま生まれてきます。先天性内反足と同様に石膏ギプスによる矯正が行われます。足部の一時的な固定とアキレス腱延長術が必要です。二分脊椎や先天性多発性関節拘縮症など基礎的な疾患を有することが多く、足部機能に個人差があります。

先天手、先天足

多指（趾）症／合指（趾）症／多合指（趾）症 胎内で手足の指が発生する過程での障害で、指の数が多いたり、隣の指と繋がっていたり指間部皮膚が長かったりするもの、その両者です。多指の場合は低形成の指の切除、合指の場合は指間を作ります。1～2歳の間に手術を行うことが多いです。

母指形成不全 手の指が発生する過程での障害で、母指が小さく生まれてきます。形成不全の程度は、母指が短いものから母指がないものまで様々で、治療法もそれぞれ異なります。

裂手・裂足 手足の指が発生する過程での障害で、指と皮膚の欠損によりあたかも手（足）が裂けたように見えます。機能は意外に良好ですが、整容的な観点から欠損部の閉鎖術を行うことも多いです。

低身長・脚長差

軟骨無形成症／低形成症 四肢短縮型低身長をきたす代表的な遺伝性疾患です。線維芽細胞増殖因子受容体3型という遺伝子変異に伴う軟骨細胞の異常により長管骨成長が障害されます。高いところのものが取れない、用便時に尻に手が届かないなど日常生活上の不便が生じます。創外固定器という器械を装着することで、四肢の骨を徐々に伸ばすこと（骨延長術）が可能です。また、近年、軟骨無形成症治療薬ボソリチドが開発され、長管骨の成長を促進することが可能となりました。骨端線閉鎖前の小児期に投与することで低身長を軽減できる可能性があります。

O脚・X脚

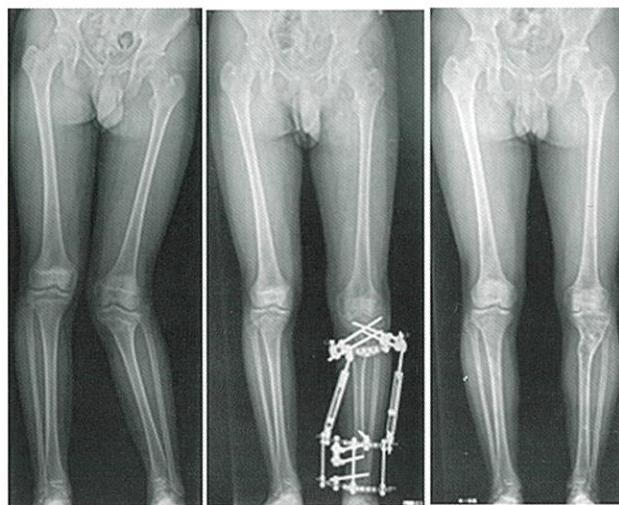
くる病 ビタミンD不足により骨が弱くなり、骨折やO脚・X脚などの下肢変形をきたす疾患です。近年、母乳栄養や偏食・食物アレルギーによるビタミンD摂取不足、引きこもりや日焼け止めによる日光照射不足によりくる病を生じる患児が増えています。検査・診断が重要です。

Blount病 脛骨近位内側の成長軟骨が癒合し、外側ばかりが成長して徐々にO脚を来す疾患です。癒合した骨性架橋を手術で切除しなければならないこともあります。

外傷後変形 小児の骨折は自家矯正力が強く、曲がって骨癒合しても矯正されていることが多いです。しかし、成長軟骨の障害で変形をきたし、手術を要することがあります。



先天性内反足(左)と先天性垂直距骨(右)



左脛骨近位骨端線障害によるX脚(左)、手術で矯正中(中央)、治療後(右)

第36回日本新生児慢性肺疾患研究会の開催報告

2024年11月23日（土）に水戸市民会館にて「第36回日本新生児慢性肺疾患研究会」を私が会長となり開催しました。茨城県での開催は3回目となりますが、私が開催するのは初めてでした。本研究会は、1988年に聖マリア病院の橋本武夫先生が第一回世話人となり開催したのが始まりで、私と宮本泰行先生は第2回目より参加していました。今回のテーマは、「CLD（慢性肺疾患）児の健やかな成長を願って」であり、当院の理念に関連したものとしました。超低出生体重児の生存率は改善していますが、依然として重症慢性肺疾患患者の予後は改善しておらず、本疾患の予後改善は新生児医療における重要な課題となっています。当日は全国から約70名の参加者があり、活発な討論がなされました。特別講演は河野達夫先生に「慢性肺疾患の画像診断：CTの有用性と撮影のポイント」を、教育講演は東間未来先生に「新生児気道外科：救命の先は・・・」と星野雄介先生に「新生児の肺エコーのABC：コツ教えます」をお願いしました。いずれも、実践的で有用な内容で、高い評価をいただきましたし、当院のアピールともなりました。また、日向先生が水戸市マスコットキャラクターの“みとちゃん”を連れてきてくれて、みなさんをもてなしていただき大変好評でした（幹事の集合写真）。水戸で学術集会を開催することは今まであまり多くありませんでしたが、水戸市民会館の利用料はかなり安く設備も充実しています。当院の職員が学術集会の開催会場として利用する機会が増えており、開催のコツもわかってきました。今回の研究会開催にあたって、当院職員の協力を得ることで無事に開催することができ感謝しています。今後も、当院スタッフが水戸で学術集会を開催することで、当院および水戸市、茨城県のアピールになる機会が増えることを願っています。

新生児科 新井 順一



研究会評議員とみとちゃん



開会あいさつ

第36回 日本新生児慢性肺疾患研究会

会期：2024年11月23日（土）
会場：水戸市民会館

「CLD児の健やかな成長を願って」

会長：新井 順一
(茨城県立こども病院 新生児科)

抄録表紙ページ

こども病院のアレルギー負荷試験について

小児アレルギーセンター長 貴達 俊徳

当院では食物アレルギーの方または疑いのある方に「食物経口負荷試験」を積極的に行っています。これは医師・看護師の見守りのもとで、アレルギーが疑われる食品を実際に食べて症状の有無を確認する検査です。食物アレルギーは血液検査や皮膚検査では100%診断できないため、実際に食べて安全な量を確認することが重要です。

特に力を入れていることが2つあります。1つ目は「乳児期からの食物経口負荷試験開始」です。0歳代は食物アレルギー発症が最も多い時期で、診断後も食べることを心配して避ける方が多くいます。しかし、安全な範囲で摂取することがアレルギー診療では重要です。2021年4月以降に試験を受けた乳児の約9割が2歳までに制限なく食べられるようになっており、早期実施の効果が出てきています。

2つ目は「ピーナッツ、ナッツ類の食物経口負荷試験」です。特にナッツ類は様々な加工品に含まれているため完全除去が困難であり、クルミアレルギーの子どもが急増しています。当院では乳幼児向けに粉末を使用し、医療スタッフが計量して段階的に試験を実施しています。2021年4月以降、症状が出る確率は約50回に1回程度で、重症なアレルギーであるアナフィラキシーの発生はありませんでした。

「必要最小限の食物除去」をテーマに2025年4月からは週5日、午前午後各6件、月間200件以上の試験実施を予定しておりますので、受診を希望される方はかかりつけ医の紹介を受けてご予約願います。子どもたちの豊かな生活とご家族の育児における不安・負担軽減に全力で取り組んでまいります。

栄養士 花井 絢音

負荷試験後の栄養指導では、医師の指示のもとで自宅での食べ方について説明を行っております。

お子さまの月齢に合わせて、どのような方法で摂取していくのが良いか検討し、次回の負荷試験まで継続できるようサポートしています。摂取が進まないお子さまには、それぞれの嗜好に合わせ、料理に混ぜるなど摂取方法の工夫を提案しています。

また、お子さま1人1人の摂取可能な量に合わせて加工品の紹介も行っています。毎回、加工品一覧表を楽しみにしてくださっているお子さまやご家族のために、なるべく多くの商品を紹介できるように努めています。

解除を目標に頑張るお子さまやご家族のためにも、1人1人に寄り添ったアドバイスができるように心がけております。



看護師 森下 梨絵

負荷試験は繰り返し何度も行うことが多いため、お子様が行きたくない場所にならないように工夫をしています。低年齢のお子さまにとって食物摂取後の観察時間が苦痛にならないように、ベッドから降りておもちゃで遊べるスペースを設け、ご家族とともに楽しんで過ごせる場を提供するように心がけています。学童のお子さまは机と椅子があるスペースで漫画を読んだり、勉強したりして過ごすことができます。アレルギー症状が出たときには医師と連携し、速やかに対応できるように体制を整えておりますのでご安心ください。

また、お子さまやご家族の疑問や不安が少しでも解消できるように、負荷試験中はこまめに観察をしながら相談しやすい雰囲気づくりに努めています。アレルギーのことはもちろん、雑談や育児の話をしてながら、ご家族も安心して来ることができる場所になれば幸いです。



茨城県立こども病院 保育士の活動

茨城県立こども病院では、遊びを通して入院中の子どもたちの発達を促したり、イベントを通じて季節を感じたりできるように、保育士が様々な活動をしています。

子どもにとっての遊びは、創造性や判断力を培ったりルールを覚えたりと発達に必要なものです。保育士は子どもの発達段階に合わせた遊びを提供することはもちろんのこと、看護師からの情報をもとに子どもたちが安全に遊べるように留意しています。

長期入院中の子どもにとっては、クリスマスや夏祭りや豆まきなどのイベントを通して変化の少ない入院生活の中で季節を感じながら楽しむことができるような工夫をしています。豆まきでは医師が鬼になったり、ひな祭りでは看護師がお雛様の格好をしたりすることで、普段とは違う医師や看護師の姿を見て、子どもたちが医療者に親しみを持つきっかけにもなります。

今まで3名の保育士が病棟に配属されていましたが、今年度は保育士が2名増え、現在は5名の保育士が院内で活動しています。人数が増えたため時間帯を分けて勤務することができ、保育士が子どもたちに関われる時間がより多くなり、療養環境の改善に繋がりました。

茨城県立こども病院 ガチャプロジェクト

NPO 法人プロジェクトサンタさんと HiStar' Snow ☆ Tsukuba さんのご協力によりガチャガチャの寄付をいただき、当院でガチャプロジェクトが始まりました。このガチャは、治療やリハビリなどを行う子どもに「今日はこれ（治療やリハビリ）が終わったらガチャができるから頑張ろう！」と励ましたり、入院中の子どもたちの日常の楽しみのひとつになったりと、とても役立っています。ガチャの中身にはマスキングテープやスタンプ・シールなど様々なものがあり、「何が出るかな？」とワクワクしながら子どもたちがハンドルを回す姿を見るのが楽しみです。



茨城県立こども病院 外来担当医一覧

令和7年4月1日

科		曜日	月	火	水	木	金
内科系	一般	午前	齊藤 (博)	齊藤 (博)	鈴木涼	齊藤 (綾)	福島
		午後				予防接種(第1、3週)	
	血液	午前	小池				
		午後	小池	吉見	加藤 小林 (第1週)	加藤 小林	加藤 池邊
	心臓	午前	塩野 林	林 (胎児心臓)	塩野	塩野 林	
		午後	塩野(14:00~16:00)	野崎 (第4週)	林	藤里	
	アレルギー	午前			鬼澤 (初診)		黒田(再診のみ) 貴達
		午後			黒田 (再診のみ)		黒田(再診のみ)
	神経	午前	田中	田中 岩淵	川嶋 (第4週 再診のみ) 福島 (第2週) 岩淵 (第1、3、5週)	田中 西村	谷知
		午後		田中、福島 谷知(第1、3、4、5週)	福島 (第2、4週) 川嶋 (第4週 再診のみ) 櫻園 (第1、3、5週)、 岩淵(第3、5週)	田中 福島 西村	岩淵
	腎臓	午前	三浦 (第4週)		泉		
		午後	泉			齊藤 (綾)	泉
	内分泌病	午前			泉 出澤		小笠原
		午後	泉 ※内分泌のみ 岩淵 (第3週)		岩淵 (第1週) 出澤		小笠原 泉
	消化器臓	午前					
		午後		齊藤 (博)			
	膠原病	午前		酒井 (第2、4週)			
		午後					
フォローアップ	午前	総合	総合	総合、塚田、泉	総合	総合	
	午後	総合	総合	総合 塚田	総合	総合	
新生児	午前		梶川	新生児甲状腺外来 星野 (第5週を除く)		淵野	
	午後	日向	油原	新井	雪竹 一ヶ月健診	佐藤	
感染症外来	午前	山田	横山	石山、石井	荒木	出澤	
	午後	山田	横山	石山、石井	荒木	出澤	
小児外科	午前	東間	東間		矢内	益子	
	午後		東間(第1、3、5週) 東間(排泄)(第2、4週) 導尿外来(第2、4週)		矢内	益子	
泌尿器科	午前				矢内	益子	
	午後				矢内	益子	
心臓血管外科	午前	阿部		阿部 坂 (第3週)		阿部 坂	
	午後						
脳神経外科	午前		笹野		笹野		
	午後	室井 (第2、4週)	笹野				
整形外科	午前			塚越			
	午後		鎌田 (第2週)、野澤			塚越 (初診)	
形成外科	午前						
	午後	相場 (第1、3、5週)				明星 (第2、4週)	

臨床心理外来は、月曜日～金曜日までの午前・午後を実施
 ※診療時間 午前9～12時(受付時間 8:30～11:30) 午後1～4時(受付時間 1:00～3:30)

企画集

茨城県立こども病院広報委員会

〒311-4145 水戸市双葉台 3-3-1
 TEL 029-254-1151 FAX 029-254-2382
 URL <http://www.ibaraki-kodomo.com/>

発行者

茨城県立こども病院

病院長 新井 順一